

光あふれる立体都市へ、

クリスタ長堀

大阪まちづくりの一大クロスポイントに、
地上と地下が一体となって長堀通が生まれ変わった。

21世紀に向けて数多くのプロジェクトが進行する大阪。キタとミナミを核とする南北軸と近年急ピッチで進められている東西軸、湾岸軸の開発などさまざまなプロジェクトがリンクしながら新しい大阪の顔を創りつつあります。平成4年から進められた長堀地区地下交通ネットワーク整備事業は、こうした大阪の動きの中心となる一大交通拠点と地下街を創造しようというビッグプロジェクト。大都市機能と人は未来都市の中でいかに共存していくのか。先端の都市交通システムとひとにやさしいまちづくりの調和をめざして誕生した新しい街、クリスタ長堀をレポートします。

「浪速文化」の新しい歴史がはじまる

よみがえる「心斎橋」 地下に広がる一大交通網

心斎橋は大阪ミナミのシンボルとして、歌謡曲にも歌われるなど、モダンなイメージで親しまれてきた名所。江戸時代初頭の1622年に開削が始まったとされる長堀川水路に明治42年に架けられました。ガス燈が灯る石造アーチ橋、心斎橋の下を多くの船が行き交い、沿岸にはさまざまな産業が発達しました。この長堀川は昭和35年からの埋め立て事業によって道路としての長堀通に。そして今、四つ橋筋から堺筋までの間約860m（地下4層、全長約730mの地下街「クリスタ長堀」を有す）が「長堀地区地下交通ネットワーク整備事業」として、21世紀の大阪の要所として再生しました。

地下鉄長堀鶴見緑地線は平成8年12月に京橋から心斎橋までの延伸工事が完成。さらに平成9年8月に心斎橋から大正間、鶴見緑地から門真南まで



明治42年の心斎橋

延伸され、ベイエリアから大阪東部を結ぶ輸送需要に大きく貢献することになりました。長堀通は、長堀鶴見緑地線の心斎橋駅、長堀橋駅をはじめ、御堂筋線、堺筋線、四つ橋線の5つの地下鉄駅と直結。大阪の南北軸、東西軸をネットワークする一大交通拠点として誕生したのです。

また心斎橋筋と長堀通の交差点には往時を彷彿とさせる心斎橋もレトロな姿で現代によみがえりました。

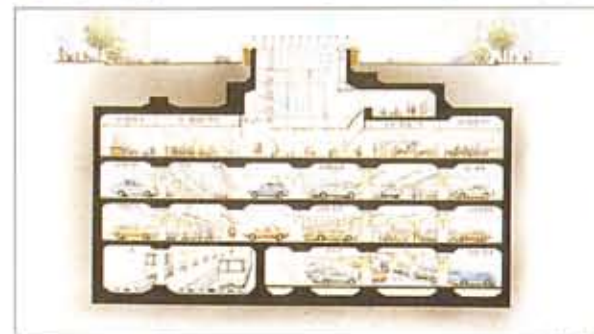
光あふれる「新しい街」 クリスタ長堀

8基のガス燈をもつ重厚な石造りの心斎橋が復元されるとともに、かつて川であった長堀通にも「川」が復活しました。平成9年5月21日にオープンした地下街「クリスタ長堀」の全長の3分の1にあたる約260mにわたって作られたトップライト（ガラスの天井）のうち心斎橋付近に水を流し、川に見立てたもので、地上からも地下からも川のせせらぎを感じることのできる光があふれる開放感いっぱいの「新しい街」が実現しました。

クリスタの愛称は国際交流都市大阪で人々が行き交うcrystal（透明な）+stage（舞台）を意味し、“きらめき”を表現したとのこと。

クリスタ長堀は、地下4層になっていて地下1階は100店舗が集まるショッピングストリート、地下2～4階は24時間営業で1030台収容の駐車場、さらに地下4階には地下鉄長堀鶴見緑地線が走る、延べ床面積が81800㎡の日本最大規模の地下街です。地下街はカジュアルタウン、ファッションタウン、バリエタウン、グルメタウンの4つのゾーンで構成。YES-fmのサテライトスタジオやイベントスペースも設置されていました。

また、「浪速文化の伝承と創造」をデザインコンセプトに、長堀川の流れと同じように、東から西へ、「伝統性」から「未来性」への時代の変化を表現。長堀川の水源地をイメージした東端の広場「水時計広場」から西端にあって未来をイメージする「サテスタ広場」まで8つの広場が「長堀八景」と称して、水や時をテーマとしたアート作品で環境演出を行なっています。奥ゆかしく元気で上品、かつ明快な伝統の浪速文化と現代アートとのジョイントが楽しめます。



断面図



●水時計広場

水をもとにしたオブジェが並ぶ東側の広場。写真は古代に使われた「水時計」(時計のうしろ)。



●占い広場

地上からの光を取りこんで、やすらぎと開放感あふれる空間。流行のコンピューター占いがあります。



●まねきやつと広場

近代前期をイメージした広場には、魔物退治を願う「開運招き猫」を設置。大阪らしい酒場気分もたっぷり。



●月見の広場

その日の月の満ち欠けがコンピューター映像で見られる天球儀。人が近づくと月の輝きが変化するさまは神秘的。



●滝の広場

トッブライトから見える「心霊機」が驚かす広場。大滝「スプリング・カスケード」が爽快感を盛り上げます。



●メトロ広場

地下鉄の改札口と直結した広場を飾るのは、未来の大阪の発展を託した、未来型オブジェ「未来（ようらん）」。



●フィッシュ広場

壁面に埋め込んだ魚のシルエットから聞こえる、心地よい水の音。自然との調和を大切にする「まち」を印象付けます。



●サテスタ広場

「クリスタ長堀」の西側に位置する、未来をイメージした広場。巨大壁画「クリスタル・リバー」が元々未来を予感させます。

都心の道路機能を高め、 ひとにやさしいまちであるために

情報化時代に対応した、 ひとへのやさしさをしっかり配慮

クリスタ長堀は「ひとにやさしいまちづくり」のためにさまざまな配慮が重ねられています。4カ国語による案内表示、目の不自由な方のための誘導用紙や点字表示板、音声で案内を行なう「リードボイス」など。また各所に子ども連れや身体障害者の方にも利用しやすい清潔で行き届いた構造となっています。さらに地下街でラジオが聴け、携帯電話が利用できるなど情報化時代に対応した設備も充実しています。



総合案内板



介護者同伴トイレ

光と音で誘導 先進の防災ネットワークシステム

日本最大級の地下街として、停電・火災・地震など緊急時の対応には最善が尽くされています。地下通路を7つのブロックに分け、各ブロックに防災広場を設置。被害の拡大を防ぐ構造をとっています。

たとえば火災の場合、温度72度になると天井に取り付けてあるスプリンクラーが作動。防災センターからは非常放送を行ない、同時に避難誘導システムが作動し、光と音による誘導が始まります。床には132通りの光点滅パターンがプログラムされており、火災状況に対応した安全な避難方向を的確に知らせます。また「音」による避難誘導では非常口の方向から音が来たように感じさせる「先行音効果」を採用。各広場や通路の一部に設けたトッブライト

は煙をため込むスペースとなり、側面には自然排煙口が設置されるなどきめ細かい角度からの防災対策が整備されています。



「光」による避難誘導システム



自然排煙口を有したトッブライト

長堀地下街・駐車場の施設概要

■用途別規模				
公共歩道、広場	駐車場	店舗	機械室等	合計
15,700㎡	45,400㎡	9,500㎡	11,200㎡	81,800㎡
■店舗内訳				
カジュアルタウン	ファッションタウン	パリエタウン	グルメタウン	合計
2,600㎡	2,700㎡	2,400㎡	1,800㎡	9,500㎡
22店舗	25店舗	34店舗	19店舗	100店舗

